

松前町

No.93

2017年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

議会だより

3月定例会

校放課後児童クラブ 落成



- 2P 平成29年度予算決定 5つの公約実現に向けて発進を
- 6P~委員会ニュース おしゃれなまちづくりに向けて ほか
- 14P

一般	質問
質問	

 - ・町の活性化対策は
 - ・契約条件の確認方法及び入札業者選定基準は
 - ・公共施設等管理計画策定の経緯と取組は
 - ・岡田小放課後児童クラブと岡田保育園の今後は
- 21P 基本条例いよいよ発信!!

完成した北伊予小学校放課後児童クラブで、さっそく宿題を・・・

97億1209万円

五つの公約実現に向けて発進を



特別会計76億3292万円 水道事業会計8億3907万円

総額181億8408万円の走り出し

五つの公約

- ★平成29年度の当初予算が決定！
議会は、5つの公約の実現と事業計画の着実な執行をチャェックし、笑顔今後誇れるライフタウンを目指して本会案件のすべてを議決した。
- 1 安全・安心なまちづくり
安心し子どもを生み、
育むことのできるまちづくり
 - 2 賑わいと活力のあるまちづくり
みんなで支え合うまちづくり
 - 3 みんなで支え合うまちづくり
快適で、文化的で、おしゃれなまちづくり
 - 4
 - 5



町民一人あたりの支出額

31万5055円

平成29年2月末人口 3万862人



●平成29年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)在高	111億958万円	見込額
	36万396円	町民一人あたり
基金(貯金)在高	19億3840万円	見込額
	6万2882円	町民一人あたり

支出

前年度に増して既存の経常的経費等について、創意工夫による節減に努めるとともに選択と集中により限られた財源を真に必要な事業に重点配分し効率的な事業採択を行っていく。
新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応しつつ第4次総合計画の遂行と、成熟した『誇れるライフタウン』にするための5つのまちづくりを推進する。

収入

税収はわずかながら改善が見込まれるが、普通交付税は減額、各事業における財源確保のための地方債の借入も増加傾向で予算を許さない状況だ。
こうした財源不足に対応するため財政調整基金から2億7千万円の繰り入れを行い、何とか当初予算を編成した。





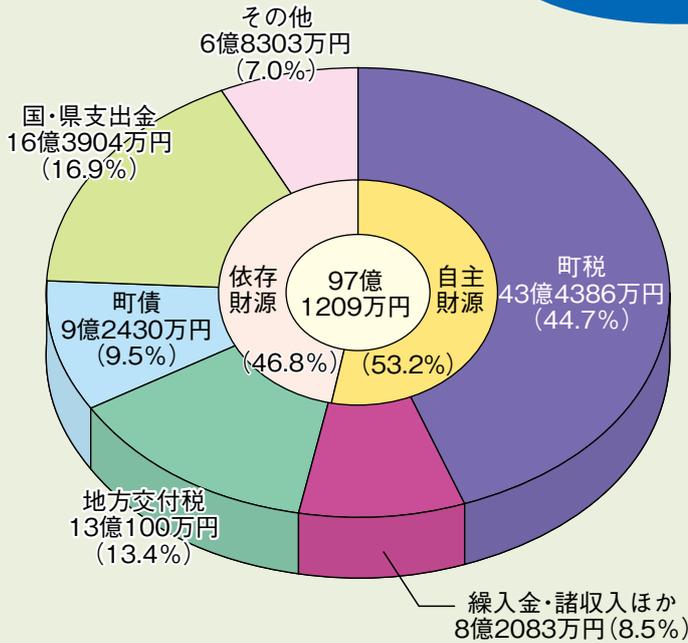
一般会計

29年度予算

前年比2%減でも着実に

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

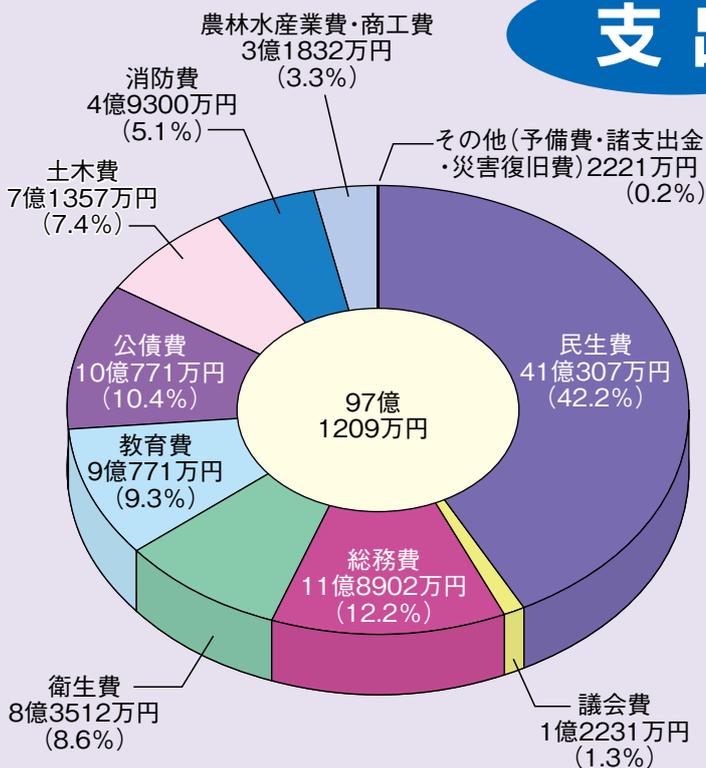
収入



自主財源：町が自前で賄うことができる財源
 依存財源：国や県の補助金や借金に頼る財源

町税	住民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
交付金など	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町債	自治体の財源不足を補うための借金

支出



民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などの事業に要する経費
議会費	議会活動に要する経費
総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費
衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
教育費	学習教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払利息
土木費	道路、公園や区画整理などの事業に要する経費。下水道事業特別会計への支出も含む

こんなことが決まりました

3月定例議会は、3月2日から21日までの20日間の会期で開かれました。審議内容の主なものは以下のとおりです。

(特に本会議場で議論になった項目を中心に明記しています)

★松前町議会基本条例★

議会初日に議員提出議案として承認を求め、全会一致で可決された。

(詳細は、p21)

～4月1日より施行～

★平成28年度3月補正予算(p9)

★平成29年度当初予算(p2～3)

専決処分報告2件、条例9件、予算関係11件など合わせて22件の議案等が提出され、うち17件が各常任委員会に付託。全案件を全会一致で可決した。

(詳細はP6～8に)

★請願1件

総務産業建設常任委員会に付託。

十分な議論を経て、賛成少数で不採択。

(詳細はP11に)

専決処分事項2件の内容は

専決処分 (報告事案)

① 北伊予小学校放課後

児童クラブ新築工事変

更請負契約の締結

変更の概要

歩道の塗装を、アスファルトからインターロッキング塗装への変更と、南進入口をバリカーから門扉へと変更した。

変更額 194万円増額



変更の理由についての質疑に対し、おしやれなまちづくりの一環としての歩道の塗装変更。またより安全性を確保するため門扉に変更したと回答があった。

② 松前町デジタル移動

通信システム整備工事

変更契約の締結

変更の概要

自動発動発電機の設置に当たり、設置予定場所(庁舎3階屋上)の強度を確認したところ、地震時には強度不足となり安全のため設置場所の変更が必要となった。

●設置場所の安全に質疑が

★移動する設置場所は、庁舎1階正面玄関の向って右の人工池奥の立木横になる。

★変更額

380万円増額

そこに正方形の基礎を作り、1.5mの高さの台座を設置して、その上に通信システムの機器が整備されることになる。

問 変更額の内訳は
答 架台設置費、配管費
フェンス設置費が主なもの

意見

問 今回の移転場所は地面の上で、液状化の問題とか安全性は、担保できるのか。

答 台座の強度は、3階屋上よりしっかりして

工事変更による増減額を表示して何をやめて何を付加したかを明確にしてもらいたい。



特別会計予算

水道事業会計

総額 8億3907万円
 給水戸数 1万1214戸
 年間給水量 322万6720m³
 1日給水量 8840m³

国民健康保険特別会計

総額 39億8566万円

後期高齢者医療特別会計

総額 4億3605万円

公共下水道事業特別会計

総額 6億4520万円

介護保険特別会計

総額 25億6601万円

一部事務組合予算

総額 2億6821万円

分担金及び負担金 1億1865万円
 (内松前町分 5689万円)
 出身地別措置者数(平成29年2月現在)
 松前町 … 18人 伊予市 … 19人
 砥部町 … 1人 組合外 … 12人



入所者の利便性向上のため、外部に委託していた機能訓練・訪問介護が園で出来るように。(4/1～)

和楽園

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合

総額 2億3431万円

分担金及び負担金 1億8750万円
 (内松前町分 9299万円)
 平成29年度から2年間かけて受入槽及び貯留槽を整備し、水槽の延命化を図る。



塩美園

伊予市松前町共立衛生組合

総額 15億9329万円

分担金及び負担金 15億6892万円
 (内松前町分 4億2461万円)
 松前消防署仮眠室改修工事費を計上。



各消防署及び聖浄苑

伊予消防等事務組合

総額 4億1001万円

分担金及び負担金 3億4991万円
 (内松前町分 1億4391万円)
 ガス処理施設のバグフィルタ点検整備(写真参照)や炉内整備などが大きなウェイトを占めている。



伊予地区清掃センター

伊予地区ごみ処理施設管理組合

予算決算

委員会
ニュース

特別 会計当初予算
特別 会計補正予算

新年度予算の使い道を
議員全員で審議

問 おしゃれなまさき推進事業の取り組み内容は。

答 まちづくり女性会議で、若い世代に住んでみたいと思ってもらえる、快適で、文化的で、おしゃれなまちづくりのアイデアをまちづくりに活かしていく。一方、提案のあった事業を、デザイン関係の有識者の女性から選ばれた、「おしゃれなまさき審査委員」が審査をする。
なお、おしゃれ予算として工事費700万円を計上している。

意見

おしゃれなまちづくりは、ハードを基本にしているが、今後、子育て支援等のソフト面にも視野を広げてほしい。

問 防災備蓄品の保管する数量は。

答 県の被害想定を基準に、飲料水は2年保存。食糧などは5年保存。1食、1万2千人分を備蓄する。

意見

災害に備え備蓄品の確保も必要であるが、自衛努力が基本であることを啓蒙していただきたい。

問 ゼロ予算事業は、事業費はゼロでも職員の負担は増える。一生懸命に取り組んでいる職員に対して、評価できる制度を導入しているのか。

答 職員の視点での事務改善を図る職員提案制度には人事評価で反映している。

問 建築確認申請等事務取扱交付金の手続きは。

答 建築確認申請等に関しては、松前町は進達機関であり、提出された申請書に進達書を添付して愛媛県に送付した場合に県から交付される。

問 台地泉公園整備に至る経緯は。

答 平成24年に、地元からの整備要望があり、平成25年度に実施設計をし、県の河川占用許可を得た。

その後、整備工事にあたり、補助金等の財政支援が得られるよう検討していたが、該当するメニューがなかった。

平成28年度に国の第2次補正予算に、地方創生拠点整備事業が盛り込まれたことで活用を検討した。

しかし、補助金等の活用は難しいと判断し、地元の意向を再確認した上で、今回、台地泉公園整備費の事業費を計上した。



おしゃれなまちづくりのシンボル「義農橋」



これから整備する台地泉

一般・一般

平成29年度

平成28年度

また、下水道会計への繰出金は少ない金額ではない。公共施設等総合管理計画を踏まえマネジメントし、下水道の施策を見直さないと、いつか破綻してしまう。

問 小・中学校の校長の方針のもと実施できる

特色ある学校づくり事業の具体的な活動は。

答 各学校から提出された事業計画を基に、伝統や校風、地域の特色を生かした教育活動を展開する。

平成29年度は、地域の方が講師となる昔遊び教室や、野菜作り体験などを考えている。今後1年をかけて事業を精査しながら、教育ビジョンにつなげたい。

意見

公共下水道の認可区域で、今後も公共下水道整備が困難な地域は、合併処理浄化槽の補助対象とすべきではないか。

意見

それぞれの学校の良さを認め合う事業になるよう、教育委員会として方針を示すべきである。町内企業との連携も視野に

入れ、松前町の特色を出してほしい。

また、長期間継続して実施される事業として、行政及び学校間でしっかり連携できる方法を考えるべきである。

問 不登校児への対応は。

平成29年1月末時点での不登校児の人数は小学生が1名、中学生で23名である。

前年度と比較すると、小学生では変化はないが、中学生は4名

増加している。各家庭の事情を考慮し、学校、福祉課、児童相談所などの関係機関と連携し、対応していく。



北伊予小グラウンドで遊ぶ子ども達

1. 子どもの健全育成のために

問 松前中学校体育館の

照明の交換に要する予算の大半は足場の設置費用のため、LEDに交換すべきではないか。

答 全ての照明をLEDに交換するには、ソケットの交換等も必要になり、全体で一千万円近くかかる。今後はLEDへ交換していく

よう、年次計画を考えた。 **問** ホッケー普及促進事業の取り組みは。

答 ホッケー普及のため、学校長等に協力の了承を得て、放課後児童クラブや、放課後子ども教室などでホッケーの時間を設けるよう計画している。

また、松前ホッケークラブでは、週3回以上練習日を設けており、2名から3名の県

ホッケー協会会員が指導にあたっている。国体終了後も、継続し指導する。

問 愛顔(えがお)の子育て応援事業とは。

2人目からの子どもに対し、1年間、紙おむつ購入助成を行う。広報やホームページでの周知に加え、母子手帳交付時や子ども医療費申請時にも案内していく。

意見

子育てを応援するためにも、今後、1人目からの助成を検討しては。



予算決算

問 防犯対策整備事業の内容は。

答 私立保育園及び認定子ども園に防犯カメラを設置するもので、国費での補助がある。町営保育所は、事故防止用のカメラはあるが、防犯カメラの設置はない。今後、必要性を検討していく。

問 コミュニティ対策事業の状況は。

答 地区からの申し出に基づき、集会所や公園の整備に対し補助金を交付する。平成29年度は7件の申請の全てを採択できた。

問 ごみの収集、運搬の契約状況は。

答 粗大ごみと不法投棄ごみは、入札により契約している。

意見 可燃ごみ等の生活ごみは、確実に収集している実績がある業者と随意契約している。

問 生ごみ減量リサイクルモデル実証事業の概要は。

答 30世帯標準を1グループとし、平成29年度は2グループで実施する予定である。対象地区は公募する。

問 医療費削減のための方策は。

答 保健師が健診時や幼稚園で、手洗い、うがいの周知をしている。

意見 治療から予防の時代に向け、他の自治体の事例も参考に、医療費の削減に取り組んでほしい。

水道事業会計

問 上水道基幹施設運転管理業務の委託業務の内容は。

答 浄水場と水源地の管理委託料4772万円は、5年間の長期継続契約としている。

委 託料の中には、浄水処理に必要な薬品や施設の定期的な点検の費用も含まれている。

また、契約に当たっては、管理業務の内容を提案してもらおうプロジェクト方式を採用し、業務内容を精査している。

公共下水道事業特別会計

問 下水道事業管理計画の変更点は。

答 今までは、施設整備のプラン策定、設計、施工の計画だったが、更に施設の維持、管理に重点を置く計画に変更する。

国庫補助金を受けるためには、平成30年11月18日までに計画を見直し、変更の認可を受けなければならぬ。また、計画策定に関する経費は、交付税で措置される。



みんなががんばる資源ごみ回収



予算決算

28年度補正予算

問 職員研修の特別旅費の減額理由は。

答 当初、職員の自治大入学に要する予算を計上していた。しかし、研修期間が3ヶ月と長期なため入学希望職員がいなかったため、減額するものである。

問 入札不調のため繰越明許となった工事の設計金額は誰が積算しているのか。また、適正であるのか。

答 土木工事は数量計算等を業者に委託し、職員が積算システムを使って積算している。しかし、複雑な建築工事は、建築事務所で積算している。これらの設計金額は適正であると認識している。

問 学校施設の修繕等の執行状況は。

答 学校施設の修繕は、計画どおり完了している。年度末までに急な修繕が必要になった場合を考慮して、減額補正はしていない。

問 高齢者施設等の防犯対策強化支援事業補助金の内容と支援は。

答 防犯カメラを設置する予定の高齢者施設に対する支援である。一事業者から要望があり、総事業費のうち、国が認めた補助基準の1/2が支援となる。

問 いきがいデイサービスの利用回数が減少した原因は。

答 介護保険適用外者へのデイサービスを行ってきた。しかし、近年、町が実施する介護予防事業の拡大により、利用者が移ったと推測される。

☆「繰越明許」とは、年度内に支出が完了しない事業を議会の議決を得て予算を翌年度に繰越したものである。



防犯カメラ 設置予定



デイサービスで、伊予漫才

平成28年度一般会計補正予算概要

■ 予算総額

(単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	106億2389万	△1670万	106億 719万	△0.2%
前年度	98億5450万	7957万	99億3407万	0.8%
前年度対比	107.8%		106.8%	

■ 松前町一般会計補正予算(第4号)主要事業

(単位：円)

科目	項目	金額
民生費	自立支援給付事業	3817万
	認定子ども園保育事業	1248万
	乳幼児・児童医療費助成事業	895万
	老人ホーム入所措置事業	376万
	国民健康保険特別会計繰出金事業	439万
	一時預かり事業	126万

総務 産業建設

③職員の有見休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

要旨

今回の改正で、育児休業の申出ができる非常勤講師の要件の緩和、育児休業等の対象となる子の範囲の拡大、介護休暇の分割取得等ができるようになった。

(全会一致で可決)

④松前町税条例等の一部を改正する条例

要旨

今回の改正は、個人住民税の住宅ローン控除制度の適用期限が2年半延長されたこと、軽自動車税の環境性能割の導入時期が平成30年10月1日に、法人住民税の税率改正の実施時期が延期となったもの。

(全会一致で可決)

公共施設の

維持管理を基金で



⑤松前町公共施設維持管理基金条例

要旨

今後、公共施設の維持管理及び更新に多額の費用が必要となることから財源の一部確保を目的として、松前町公共施設維持管理基金を設置するための条例を制定する。

審議

問 基金条例制定と公共施設等総合計画で示している施設の更新等の費用との関係は。

答 公共施設の更新には多額の費用が必要となるため更新のない年も積立を行い、更新年度の費用負担を軽減し財源の平準化を図るもの。

毎年かなりの額の修繕費用が発生すること

を想定しているが、大規模の修繕を必要とする年度の場合、それに見合う財源の積立は困難である。そのため総合管理計画を基に施設の長寿命化や規模の縮小、統合などを図りながら経費を抑制し今後の公共施設の管理が円滑に行えるように努める。

反対意見

公共施設管理計画では今後40年間平均で毎年10億円の財源が必要となる。

基金を設置するなら目標額を設定し、毎年積立なければ実効性を欠く。

(賛成多数で可決)

⑧松前町農業委員会委員候補者評価委員会条例

要旨

農業委員に応募した者の数が定数を超えた場合に委員の任命過程の公平性及び透明性を確保することを目的とした評価委員会を設置するためのもの。

審議

問 農業委員になるための条件とその確認方法は。

答 以前の制度では農業委員の選挙人名簿に載る資格が必要だった。選挙制度が廃止され農業委員に応募する方は農業政策やこの制度に理解のある方であれば応募できることになった。

(全会一致で可決)

⑨松前町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例

要旨

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されたことに伴い新たに制定される。

審議

工場立地法に基づく緑地面積率等を定めた県の準則が廃止されることから松前町が新たに町内製造業の活性化と自然環境の両面を考慮して、緑地面積率等を定めるもの。

審議

問 廃止される県の条例と同じ内容だが、町独自の考えはなかったのか。

答 将来的には基準について余裕もあるので工場立地の推進を考慮するなら基準を緩和する考えもある。ただ環境問題が伴うため時代の要請に応じて今後、総合的に判断していきたい。

(全会一致で可決)



請願第一号
『最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書』の採択を求める請願書

◎ 請願者

伊予地域労働組合

連合会

議長 久保 竜児

◎ 紹介議員 金澤 浩

主旨

非正規雇用労働者が全労働者の4割に達し、低賃金で不安定な仕事にしか就けず自立できない人が増え、少子高齢化が進行している。更に親の貧困が、子供の成長を阻害する『貧困の連鎖』も社会問題になっている。そのため最低賃金の地域間格差の縮小と大幅な引き上げ、中小企業への支援策の拡充を図るよう意見書の提出を求めるものである。

審査

・最低賃金をいきなり、1000円以上に引き上げることは、経営者側のことも考慮すると無理である。

今後徐々に引き上げるべきで、すぐには賛成はできない。

・地域間格差があることは周知のことだが、全国一律に最低賃金を上げることで物価上昇の懸念がある。

中小企業の経営状況なども判断しながら総合的に判断すべきだ。

・全国一律が公平のように聞こえるが、一律に賃金を引き上げることで経済が循環していかなければ、全体の生活向上につながらない。

(賛成少数で不採択)

文教厚生

⑦松前町介護保険条例の一部を改正する条例

要旨

介護保険法施行令の改正により、市町村の条例で定めた場合に、第1号被保険者の保険料段階の判定に特別控除額を控除して得た額を用いることが可能となるため松前町介護保険条例の一部を改正するもの。

介護保険料の急上昇を防ぐ

審議

条例改正の趣旨は。

土地収用等、本人の責めに帰さない理由で譲渡所得が発生した場合に、租税特別措置法の特別控除後の額で保険料を算定するものであり、土地の譲渡がない場合は、今までの保険料と変わらない。

問 施行後の対象者と軽減額は。

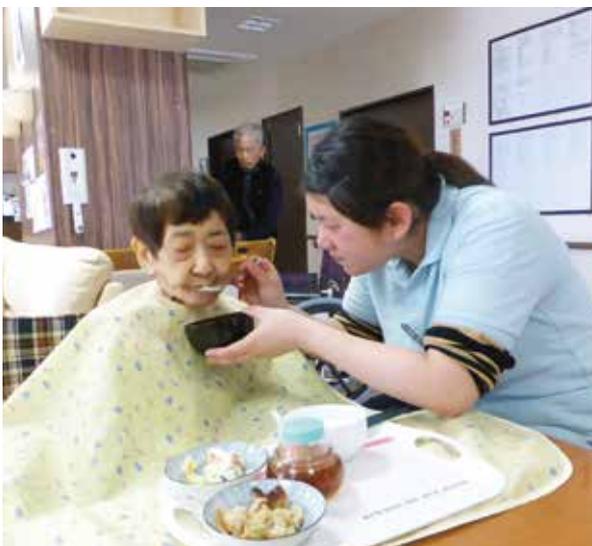
答 平成28年度分は確定申告が終了していないため、不明である。

平成27年度の数字を当てはめてみると、対象者14名で70万円程度だ。

(全会一致で可決)



ほんに、あったか〜い介護を



条例改正

② 松前町個人情報保護

条例及び松前町行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

○改正の概要

情報提供ネットワークシステムを用いた情報連携を可能とすることで条例で定める独自利用事務について、送付書類が省略可能となる。

(全会一致で可決)

⑥ 松前町放課後児童クラブの設置に関する条例の一部を改正する条例

○改正の概要

北伊予小学校放課後児童クラブの新築移転に伴い、改正するもの。
 大字神崎226番地を
 大字神崎226番地4
 (全会一致で可決)

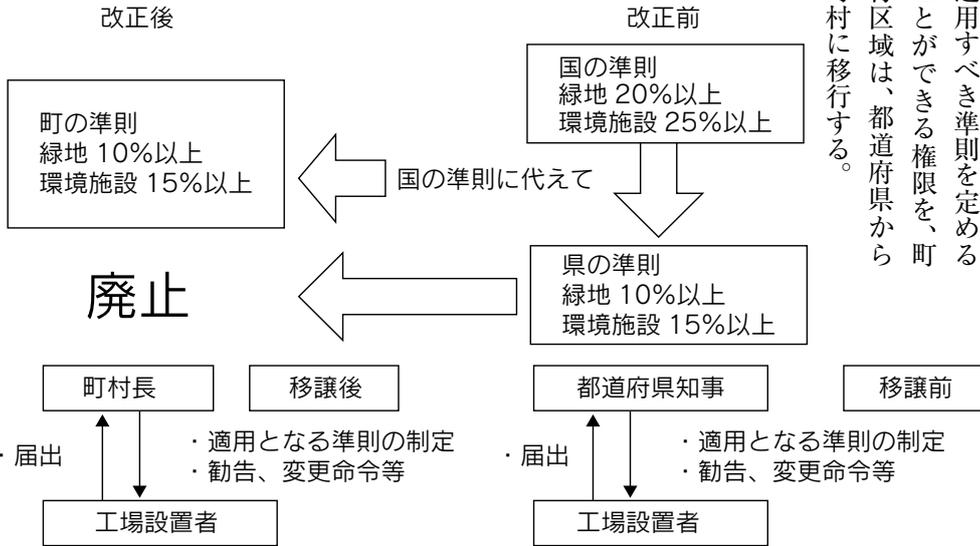
その他

⑨ 松前町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例

○改正の概要

1 国が定める準則に変わって、ある区域において適用すべき準則を定めることができる権限を、町村区域は、都道府県から町村に移行する。

(全会一致で可決)



国際サッカー事業

1 目的

えひめ国体における天皇杯(皇后杯)の獲得に向けて、海外高校生のホッケーチームを招へいし、交流試合を通して競技力向上を図ることを目的にする。また、町の将来を担う高校生が、異文化社会に対する理解と友好を深め、国際感覚を身につける。

2 実施日・会場

平成29年4月15・16日

3 招へいチーム

・ブッシュレンジャーズ
 ・男女各1チーム

※オーストラリア強豪クラブチーム

・ホッケー少年男子愛媛選抜(伊予高校)

・ホッケー少年女子愛媛選抜(松山南・中央高校)

4 事業概要

・交流試合6試合
 ・ウエルカムパーティー
 150名

5 事業費

129万円

第4分団消防詰所完成

平成29年2月22日落成式が行われた。徳丸・出作・中川原地区の消防団再編に伴い新たな消防拠点として、建設された。

第4分団消防詰所



『愛顔つなぐえひめ国体2017』より

去る3月23日役場大会議室で『愛顔つなぐえひめ国体2017』の開催に向けて、実行委員会の意思決定組織である常任委員会に議員5名が出席した。実行委員会常任委員の変更の承認

平成26年の第1回総会からこれまでの経過概要が説明され、専門委員会における決定事項の報告、平成28年度収支予算見込み、平成29年度事業計画案、収支予算案の議事があり全員一致で可決された。

今後、町民の皆様のご支援・協力をお願いいたします。





3月定例議会

提出議案等への各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 △議長

報告・議案等番号、内容		議員名														
		住田英次	田中周作	金澤浩	影岡俊範	稲田輝宏	城村トキ子	村井慶太郎	藤岡緑	加藤博徳	八束正	岡井馨一郎	早瀬武臣	三好勝利	伊賀上明治	
請5	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	△	●	●	●
提1	松前町議会基本条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
2	松前町個人情報保護条例及び松前町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○
3	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
4	松前町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
5	松前町公共施設維持管理基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
6	松前町放課後児童クラブの設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	○	○
7	松前町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
8	松前町農業委員会委員候補者評価委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
9	松前町工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
10	平成28年度松前町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
11	平成28年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
12	平成28年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
13	平成28年度松前町介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
14	平成28年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
15	平成29年度松前町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
16	平成29年度松前町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
17	平成29年度松前町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
18	平成29年度松前町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
19	平成29年度松前町公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
20	平成29年度松前町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○

6 議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

藤岡 緑 議員(15ページ)

- ◆町の活性化対策は
- ◆空き家の有効活用促進事業のその後は
- ◆若者定住と町の活性化に向けて
- ◆松前・宗意原統合保育所開所にむけて
- ◆町道西古泉筒井線道路整備の進捗状況は
- ◆他自治体との連携協約の内容および今後の計画は

三好 勝利 議員(16ページ)

- ◆契約条件の確認方法および入札業者選定基準は
- ◆松前・岡田地区の活性化計画、第4次防災計画は
- ◆職員人事について

加藤 博徳 議員(17ページ)

- ◆公共施設等管理計画策定の経緯と取組は
- ◆北伊予駅自由通路事業における食い違いは
- ◆地下水の水質における今後の対策は
- ◆消防詰所建設計画および地域消防の連携は
- ◆職員提案の効果と今後の取組は
- ◆29年度委託事業についての詳細は

稲田 輝宏 議員(18ページ)

- ◆岡田小放課後児童クラブと岡田保育園の今後は
- ◆長期的な都市計画のビジョンは



影岡 俊範 議員(19ページ)

- ◆水道事業での長期的視野に立った資産管理は
- ◆密集住宅地の火災および水害への備えは
- ◆固定資産台帳整備の進捗は

金澤 浩 議員(20ページ)

- ◆町営保育所の今後は
- ◆町民目線の防災対策と予算化は

一般質問とは・

- 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
- (行政側からの答弁の時間は含まれません) 最初に全質問を行いその後各質問に対して担当者から町としての考えを聞きます。
- 更に回答内容について深くまた関連して質問する場合は再質問できます。
- 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。



藤岡 緑 議員



ワークショップの現場で・・・
「まさき いいところ見つけ隊」



町の活性化策に町民と協働の観光事業は

新たな観光資源開発など住民主体の活動に支援をする

問

町の活性化に向けた取り組みを観光資源につなげれば、住民自らも松前の魅力を再発見できる機会となる。

町民との協働による観光事業など実践的なまちづくりの考えは。

町長

28年度は町民主体の新たな観光資源の開発を検討する会「松前のいいところ見つけ隊」の活動を支援してきた。幅広い年齢層から10種類の町内周遊ルートの提案があり、これらを磨き上げ醸成していく。

昨秋には町内初のボランティアガイドグループが誕生し、町の観光のための活動に期待している。

今後は、町民と行政がそれぞれの責任と役割を分担し連携、補完し協働のまちづくりを推進する。観光協会の足がかりになればと考える。

若者定住と町の活性化に向けて

様々な取組みを積み重ねて人の流れを作る

問

「若者の移住定住促進」は、町の活性化につながる。

地元で就職してくれる若者をどう増やし、その生活支援策について町の考えを伺う。

町長

若者の故郷への愛着や誇りの醸成は、県が行う地元企業への就職活動の支援に協力して情報発信をして地元回帰の方向へ導きたい。29年度から特色ある小、中学校づくり

で、故郷に愛着が持てる子どもが育ち、将来的に本町への定着や回帰に繋がることに期待している。経済的支援はないが、新しい人の流れを作っていく。



三好 勝利 議員

一社の特命随意契約が多いが、二社選択の原則は

競争入札が原則・専売業者の場合は特命随意が実情

問

- ① 特命随意契約が多いのは。
- ② 二社選択の原則は。
- ③ 部長職の再考は。

町長・副町長・財政技監

① 競争入札をするのが原則だ。しかし、その業者しかそのものを作っていないものとか、その業者が専売の場合には一社でやることが認

められて、随意契約をすることも認められている。ソフトウェアの開発とかそのの管理委託、メンテナンスなど最初に落札したところがシステムを作るため、そのシステムを承知しているのはその業者である。別の業者に頼めば非常に高くなるため、保守管理も、一

社との特命随意契約になっっているのが実情だ。
 ② 二社選択の原則は承知していない。
 ③ 部長制のもと、部長が部内の調整を広範囲にわたる問題に垣根をこえ一体となって問題に取り組み、住民サービスの向上が図られている。

松前・岡田児童クラブの現状と整備方針は

松前は宗意原保育所跡、岡田は検討中

問

- ① 北伊予放課後児童クラブ施設が完成したが、松前・岡田の今後の整備方針は

保健福祉部長

① 松前小学校児童クラブは、一年から、三年まで受け入れており、小学校内の空き教室2部屋で運営しており、定員100名。

平成31年までに対象児童を6年生まで拡充を行うため、施設が必要。そのために宗意原保育所跡に施設整備を行うため、29年度設計に着手する。岡田小学校放課後児童クラブは、学校の東側にあるプレハブの専用施設と小学校内の図工室で運営しており定員80名。

具体的な施設整備方針については検討中だ。





加藤 博徳 議員



計画的な保守が必要な、松前中



公共施設等総合管理計画とは

公共施設の保守に、毎年10億円が必要

問

① 26年4月に総務省から要請された公共施設等総合管理計画作成要請は。起案日は。今後の計画は。

② 新たに建造物は作らないとあるが、北伊予駅自由通路とこの計画の整合性は。
③ 29年度の委託事業数と予定費用は。

副町長、まちづくり課長

① 公共施設等の老朽化の問題や維持管理や更新に必要な多額の費用に対処するため、計画的な管理推進を目的とした基本的な方針を定めたもので、平成27年の5月に開始した。

今後40年間で348億必要、毎年平均約10億円必要だが。

② インフラ施設を整備する場合、長期的な展望を踏まえ、必要性、規模等、慎重に検討し実施する。

財政課長

③ 一般会計が181件10億425万円、他合わせて合計で226件12億477万円。

町内の地下水の水質状況は

悪化しているとはいえない

問

① 町内自家水道水の水質状況は。
② 西古泉水源地の老朽化対策は。
③ 消防団統合に拠る自主防災組織との連携は。

町民課長、上下水道課長、総務課長

① 県環境政策課のデータでは、平成24年に比べ平成27年度は基準値を超えた比率が増加しているが、悪化しているとはまでは言えない。

② 水源水質の変化や大規

模地震に対応するため松前町水道第6次拡張事業に向けた具体的な計画を進めている。

③ 町や地区での防災訓練、防災講座に双方が参加し、平時より緊密に連携を図り、体制を整えている。



稲田 輝宏 議員

岡田小放課後児童クラブと岡田保育園の今後は

岡田保育園の施設は最適地だ

問

放課後児童クラブの東方向性と岡田保育園の今後の方向性は、岡田保育園と白鶴保育所との統合の考えは。

保健福祉部長

岡田保育園は移転計画があり、町有地であるその跡地施設は耐震診断による耐力度もあり、放課後児童クラブの有力候補地として検討する。

白鶴保育所は耐震性が低いため、移転時に統合できないか、岡田保育園と協議中だ。

松前町の長期的な都市計画のビジョンは

検討会を立ち上げ方向性を議論する

問

松山外環状線やエミフルの立地など新たな要因が生じている、長期的な『まちづくり』における都市計画のビジョンなどは。

町長

人口減少社会の中、町の将来人口は『日本地域別将来人口推計』では2060年に1万8974人になる。町が2015年度に策定した『松前町人口ビジョン』では、生産年齢人口を中心とした幅広い層の転入者を更に増加させることを目指すことで、2060年の人口目標を2万5千人としている。

考慮すべき要因が生じてきており、庁内で土地利用の『検討会』を立ち上げ、人口ビジョンの実現に向けて方向性の議論を進める。



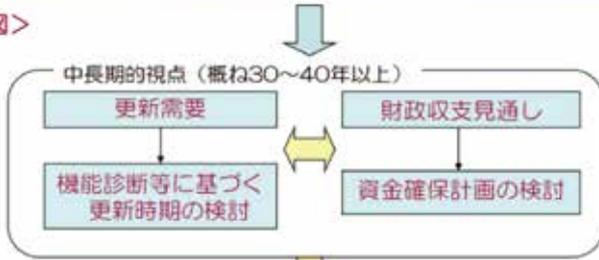
移転が急がれる岡田保育園

水道におけるアセットマネジメントとは

<定義>

水道における「アセットマネジメント(資産管理)」とは、水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するために、水道施設の特性を踏まえつつ、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動を指す。(1-6)

<概念図>



技術的根拠を有し、財源の裏付けのある更新計画の策定及び実行



影岡 俊範 議員

厚生労働省健康局水道課の資料転載

安定的な水道水の供給を確保するための取り組みは

中長期的な視野で資産管理し、持続可能な事業・施設の維持管理を図る

問

- ① 水道台帳の整備状況
- ② 管路更新率は
- ③ 管路の耐震化率は
- ④ 水道水の余剰能力は
- ⑤ アセットマネジメント(資産管理)について

上下水道課長

- ① 水道固定資産台帳・管路台帳を適正に管理。
- ② 0.86%と0.76%の全国値を上回っている。
- ③ 耐震化率は約30%敷設替えの際、耐震管を設置「大規模震災」に備え継続して耐震化を推進する。
- ④ 供給余力能力はあるが、企業誘致や転入者などの需要変化や、災害時の対応に活用していきたい。
- ⑤ 厚生労働省の「簡易支援ツール」を活用し、

公営企業会計とアセットマネジメントにより、国の整備予算を活用する姿勢を当町の水道事業に期待したい。

密集住宅の火災に対する備えは

消防力の充実、自主防災組織と連携・地域支援体制の確立を図る

問

- ① 消防力について
- ② 消防団員の身を守る装備品の充実は
- ③ 狭い道で放水設備は
- ④ 延焼防止の方策は
- ⑤ 老人・障がい者等の弱者避難についての取組

総務部長

- ① 消防団員は309人
- ② 今年度新たに、ゴーグル・ケプラー手袋を配備
- ③ 小型ポンプを搬送し、必要に応じて中継ポンプを接続して消火にあたる。
- ④ 空き家の敷地寄付を受け、除去事業は32件実施
- ⑤ 避難行動要支援者名簿を作成、自主防災組織と連携を図り、地域における支援体制の確立に努める。



金澤 浩 議員



閉園予定の二名保育所：全景

町営保育所の今後の経営は(子育てしやすいまちづくりから)

保護者には今後の説明で理解して頂く考えだ

町営保育所は、町として一番に、子育てに関わる事が出来る施設ではないだろうか。しかし、二名保育所閉園の報告が、突然、今年2月28日、理事者から議会にあった。

問

- ① 町はどのような保育サービスを提供しようと考えているのか？
- ② 二名保育所を閉園決定するに至った経緯は？
- ③ 他の自治体が実施している民営化ガイドラインのシステムはあるのか？
- ④ 青葉幼稚園に決定した際の検討委員会は？
- ⑤ なぜ、保護者など第三者を入れた検討委員会をつくらなかったのか？
- ⑥ 公的に実施する以上は、公正さを担保できるのか？
- ⑦ 検討から閉園決定まで(1年8ヶ月)、保護者の意見を聞く時間も十分あったはずだが、今後、同じ様な事があつた場合、同様の考えで進めるつもりか？

町長

- ① 町内全体の保育の質を高める指導だと思つて。松前・宗意原統合保育所が中心になつて質向上の指導に努める。個々の保育は、町営でなくても十分、私立の保育所で賄^{まかな}えると思つている。
- ② I、平成27年7月の耐震診断で耐震性確保不能が判明。この時点から民間との連携を視野に入れ、対応を模索。II、平成28年5月、青葉幼稚園から認定こども園を目指し、園舎建替への意向の打診があつた。III、平成29年2月、二名保育所の閉園を決定。③ 無い。個別の判断でいく。総合的に判断した結果、一番効率のいい整備の方法は青葉幼稚園にお任せするほうがいいと思つて、二名保育所の閉園を決定。④ 無い。町の部局と理事者だけで協議し決定した。⑤ 新築するか、統合するかは二者選択だ。私の判断としては、第三者の意見を聞いて行う必要性を余り感じなかった。⑥ 町内にある幼稚園と町が連携するという図式での統合だ。特別な扱いで構わないと思つている。青葉幼稚園が園舎拡張をして認定こども園にしたい意向を示し、そこに町が乗つただけだ。⑦ 議員との意見の違いというふうには理解していない。今回の経緯は、どこに対しても自信を持って説明ができると思つて。



松前町 議会基本条例いよいよ発進



No.1



何が変わる、これからの議会 !!

- ★1年半かけて、やっと議会基本条例はできました。
- ★これからは更なる議会改革のスタートです。
- ★この条例を基に議会活動を進め、実践していくため引き続き作業部会で細かい規則や申し合わせ事項の見直し等を行い、報告していきます。
乞うご期待を。(今後、3回に渡って経過報告の予定)

ヒストリー (ダイジェスト版)

2015	9月	議員改選が無投票に
	10月	基本条例作成にむけて勉強開始
2016	2月	先進地研修(議会運営委員会)
	4月	基本条例作成検討会発足
	8月	先進地研修(議員全員)
	9月	作業部会発足(議員5名)
	12月	中間報告案提出
2017	2月	最終報告書提出
	3月	本議会提出

松前町議会基本条例・前文

松前町は、豊富な水資源と瀬戸内式の温暖な気候に恵まれ、面積は20平方キロメートルで全町が平野という特徴を生かし、コンパクトで便利なライフタウンを町民と共に目指している。

地方議会は、地方分権の時代にふさわしい二元代表制の下、地方公共団体における意思決定、事務執行の監視等、議会の機能を十分発揮しながら日本国憲法に定める地方自治の本旨の実現を目指さなければならない。

松前町議会は、この使命を達成するために、地方自治法が定める規定の遵守、公正性と透明性の確保、積極的な情報公開、政策形成への町民参画の推進、議員間の活発な討議、執行機関との緊張関係の保持、議員の自己研さん及び資質の向上等を定めた松前町議会基本条例を、ここに制定する。

☆基本条例の6大特色

- ①情報公開
議会報告会の実施、各会の傍聴、広報充実
- ②監視機能
二元代表制の下、執行機関のチェック
- ③住民参加
意見交換会、議会モニター制導入
- ④自由討議
議員間の積極的自由討議の保障
- ⑤政策立案
研修の充実、政策形成への力量アップ
- ⑥説明責任
議会の議決、運営に自らの責任を果たすこと

構成内容

前文

- 第1章 総則(第1条・第2条)
 - 第2章 議会及び議員の活動原則(第3条—第5条)
 - 第3章 議会運営の原則(第6条—第8条)
 - 第4章 町民と議会との関係(第9条—第13条)
 - 第5章 議会と町長等との関係(第14条—第17条)
 - 第6章 議会の透明化と機能強化(第18条—第21条)
 - 第7章 議員定数及び報酬(第22条・第23条)
 - 第8章 最高規範性と見直し手続き(第24条—第26条)
- 附則



研修報告

総務産業建設
常任委員会

2月2日～2月3日

1日目

●研修地

大分県 豊後大野市
人口 約3万7千人
世帯数 約1万6千世帯
面積 約600㎦

★別府、湯布院など有名な温泉にも近く、別府湾に注ぐ大野川の豊かな水理を活かした県内屈指の畑作地帯

●研修目的

空き家対策の取組みについて

●研修内容

平成17年の5町2村合併後3年で3・6%の人口減、28年11月には当初から6千人もの人口減という現状。

同時に、移住希望や空き家に対する問い合わせも増えてきた。

並みを生かしたユニークな取り組みに興味を持った。

●研修地

大分県 臼杵市
人口 約4万人
世帯数 約1万7千世帯
面積 約291㎦

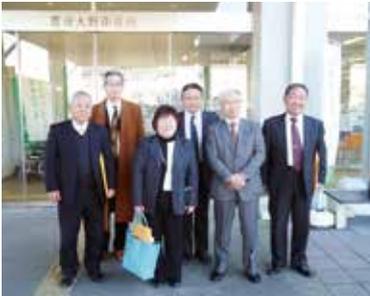
★山間地の人口減少問題を抱えつつも国宝臼杵石仏や古い町並みなど歴史文化の香る町の特徴を活かし観光事業の盛んな市として有名

●研修目的

空き家対策の取組みと移住、定住サポート支援策

●研修内容

高齢化率37%、20年後には人口が3万を割る推計が出ている。この現象に歯止めをかけるため移住定住施策体制の確立を



目指し協働まちづくり会議を設置し①移住支援②空き家バンク③子育て支援④モニターツアー開催を柱に、行政が連携して支援する仕組みをスタートさせて一定の成果を上げている。

●今後の課題

空き家バンクの登録・活用及び若者の定住促進への施策、特に空き店舗活用事業や婚活推進協議会の設置など、興味深いものがあつた。今後も注視していきたい。

そのための厳しい財政面からパーパスによる環境コスト削減に取り組む行政と合致する環境にあつた。議長主導による『ICT導入検討委員会』を発足させタブレットの機種選定や通信費等のコストにつき議員負担分の金額決定なども了承を得ることができたとのこと。

●研修目的

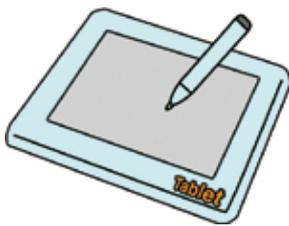
タブレット端末の導入について

●研修内容

合併により地理的背景も変わり、議会事務局と各議員間の各種連絡事項が完全につながるためにも双方のスムーズな連絡体制が望まれるようになった。



1日2ヶ所の研修は、少しハード



慣れない手つきで、タブレット操作

●今後の課題

松前町として、同様のタブレット導入はまだ環境が整っていないが、今後の先進地の動向は注視していきたい。

文教厚生 常任委員会

2月8日～2月9日

1日目

●研修地

大阪府 島本町

人口 約3万人余り

世帯数

面積 約16・8平方km

★大阪府北部に位置し、あの有名な天王山があり、京都盆地との分岐点に位置する。

●研修目的

地域包括ケアシステム

先進地の取り組み『いきいき百歳体操』について

●研修内容

島本町では地域包括ケアシステムの取り組みとして『いきいき百歳体操』を『住民主体で地域展開』出来るよう、後押しをしている。



重りを付けて、筋肉強化!!



この『いきいき百歳体操』とは、手首や足首に1kg程度の重りで筋力維持や強化を図る。

効果の一例として高齢者の5m歩行スピードの記録を比較すると、個人差はあるが97歳女性では9.2秒から3.3秒、76歳女性では6.7秒から3.8秒、70歳男性では9.3秒から6.7秒と改善されたDVDの映像を見て驚いた。

集会所などの拠点で週

2回程度、DVDを見ながら自主的に39ヶ所で約

500人が取り組んでいます。主導者となるサ

ポーターの育成講座は年

1回開催し143人が受講している。

●今後の課題

研修から自主性を基本とし、高齢者自身に体力維持の大切さを十分理解してもらうことが必須であり、普及啓発活動が重要と感じた。

2日目

●研修地

大阪府 泉大津市

人口 約7万6千人

世帯数

面積

★大阪府南部に位置し、大阪湾に面しており、日本最大の毛織物の産地だ。

●研修目的

地域包括ケアシステム先進地の取り組み『介護予防ボランティアの活動及び医療介護連携』について

●研修内容

活動の自主化が進まないため、要介護になる可能性のある人を把握するため、『基本チェックリスト』を作成し、把握された人を中心に介護予防講座を地域巡回して自主化することで、虚弱な人へのアプローチが可能となり動機付けが、し易くなったそう。

島本町と同様に『いきいき百歳体操』のDVDを活用することで、講師不在でも容易に活動が出

来るようにしている。

医療介護連携については医師会・地域包括支援センター等の関係機関が

参画する泉大津医療・介護地域推進ネット、通称

イカロスネットが中心となり、関係職種での研

修会、認知症カフェ等の様々な事業に取り組んでいるそう。

●今後の課題

イカロスネットは医師会が中心の在宅医療研究会・地域包括支援センター・介護支援専門員連絡協議会・訪問看護事業

所で始めたが、現在は歯

科医師会・リハビリ職種等の様々な機関が参加しているため、事例検討な

ど同じ土俵で検討することができています。

●今後の課題

今回の研修から地域の自主ボランティアグループを育成強化し、また、関係機関と行政の連携を強化することで、高齢化社会に対応する切れ目のない支援が後押しできると感じた。



イカロスネットって、何？

いろいろな議員活動



落成式に参加する

放課後児童クラブ学舎

平成29年3月18日午前9時半より北伊予小学校放課後児童クラブの新学舎の完成を祝って落成式及び内見会が行われた。行政、議会及び工事関係者が、一同に介し真新しい木の香り、開口部が広く明るい大教室で子どもたちの健全育成を願った。

施設的にも、受け付けカウンターには舎内放送機器が完備され、利用児童の成長段階や障害の程度にも対応できるトイレの設置など、今までの経験をもとにいろいろな工夫が見えた。今後の松前、岡田の児童クラブ新設に向けて大きな指針となった。



全員協議会より

☆入札方式が変更

★特別職の給料は

従来の松前方式は、最低制限価格の計算式が複雑で、落札業者の選定を難しくしていて入札不成立になることも多くなってきた。そのため県内の多くの自治体が使用している計算方式に変更することになった、との報告を受けた。承した。

ここ数年ずっと基準額の10%減を続けてきた。ただ行政改革の一定成果や町税の微増等で、「減額措置を廃止してもいいのでは」という審議会の答申を受けて規定された額に戻すことを了承した。

議決された事業や施設をチエックするのも仕事・・・

ホッケー親善試合後のウエルカムパーティにて

第4分団消防詰所落成後の内見会にて



町民の声

あの日から六年

北黒田 一町民

あの日、実家は崩れ落ちてしまったと思った。東京にいた子供は「帰宅難民」になった。そして知人の家は流され、友人はご主人を失った。たくさんさんの命と穏やかな日常を一瞬にして奪ったあの東日本大震災から

もう、六年がたった。

当時、テレビから流れてくる信じられないほどの映像にただただくぎづけになり私は心まで疲弊していった。同じように多くの方も胸を痛めたことと思う。

そんな中、スーパーに出かけると物があふれ、何事もなかったかの様な日常に、一体、どちらが現実の世界なのだろうか。と錯覚さえしてしまうほど

どだった。同時に被災地

との微妙な温度差を感じたのは、私だけではなかったにちがいない。被災地に身内や知人がいたひと。いないひと・・・

「災害は忘れた頃にやってくる」の警句どおり、ちょうど一年前には熊本地震が起きた。近い将来、南海トラフ地震は必ず起こるといわれている。復興の兆しがみえて

いるとはいえ、未だに

十二万人以上の人々が避難を強いられ、原発も収束がまだみえていないのも事実である。ましてや、避難者いじめなんてもつてのほかだ。

「避難袋だけは最低限用意したほうがいいよ」と被災した友人にいわれている。『明日は我が身』。最低限の備えを肝に銘じておきたいと思う。

傍聴席

松前町・観光維新

上高柳 山本 明

町議会一般質問を始めて傍聴した。出席議員の姿を見て思わず「新鮮さ」を感じる。

傍聴の目的は、ある議員の「町の活性化対策は？」である。失礼ながら松前町の観光開発に向けた取組に対し、以前よ

り疑問を感じていた。議員の「町の特徴や地域資源の掘り起こし。」「町内外にアピールし観光資源に繋げる。」まさに言われるとおりで共感する次第である。

これは、岡本町長の公約にも合致するようである。まさに「維新」である。この機を捉え、町と民が一体になり推し進めていきたいものである。

町民はもとより、町外

の人々への共感を得て、松前町へのリピートを増やす。

「松前町へ行こう。」が合言葉になる様に、一町民として協力は惜しまない。



「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。

投書多数の場合は、委員会掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず
名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会 「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。(次回は6月中旬からの予定です。)

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。





松前町で生きる & みんなで支える

北伊予小学校放課後児童クラブの施設完成



放課後児童クラブの子ども達にインタビュー



Q この放課後児童クラブはどう感じますか。

A 早瀬葵妃さん 6年生 (東古泉)

広くてきれいな、建物なのでよかったです。ここには、友達がたくさんいて楽しく遊べている。

勉強もできているので、ずっと続けてこれて来たい。

A 村上琉聖くん 5年生 (鶴吉)

きれいで広いのが、気に入っている。トランプや将棋などを友達として、楽しくて時間がたつのが早く、もっと長くここにいたい。

新しい友達もできたので、続けてここにいたい。

3月19日、北伊予小学校放課後児童クラブの落成式。

4月1日、放課後児童クラブ活動開始。

子ども達の表情が生き生きとしており、いい思い出作りができたかと期待する。

★今後、この放課後児童クラブの充実と安全が確保されたことにより、松前・岡田へと続くことを願う。

まちの話題

「ホッケーと私」

前か後ろか、わからないほど日焼けしていた高校時代。親元を離れて下宿生活を始めた入学の日、「ホッケー部に入るんよ」と話していた前席の女子に声を掛けたのが、ホッケーとの出会いだ。担任の先生も顧問ゆえ、ホッケーづけの毎日を送ることとなる。おかげでインターハイも国体も経験することができた。

さあ、いよいよ愛媛国体！夢に見ていたホッケー場が、この松前町に完成した。他県の強豪チームはもとより海外からも遠征に来ている。ぜひともグラウンドに超越したとき、ホッケー小僧たちに熱い声援を送りください。きつと近い将来、日の丸をつけて世界で活躍する選手たちを見つけることができるはず。

松前ホッケークラブ会長

渡部恵美



町内チームが、オーストラリアの高校生チームと親善試合
4月15・16



編集後記

3月議会で更なる議会改革に向け基本条例が可決されました。町民の皆様に対し、公正性と透明性の確保、積極的な情報公開、政策形成への町民参画の推進など、豊かなまちづくりのため、不断の努力を続けてまいります。

これからも、町民に信頼され活力ある議会を目指してまいります。より一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

(八束 正)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 八束 正 |
| 副委員長 | 藤岡 緑 |
| 委員 | 稲田 輝宏 |
| 委員 | 影岡 俊範 |
| 委員 | 金澤 浩 |
| 委員 | 田中 周作 |
| 委員 | 住田 英次 |



この広報誌は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。